

ライフケアガーデン湘南 ココタウンデイサービスセンター

症 例 概 要 利用者： 100代 女性 要介護2

利用期間 : 令和 6年 10月 ~ 令和 8年 1月

経 過 :

元気な頃は、編み物したり、木目込み人形を作ったりと手先が器用で良く作られていました。外に出ては話好きで近所の方と会話したりと交流もありましたが耳が聞こえづらくなってからは、積極性がなくなりテレビで相撲やドラマを見てほとんど動かず外出もなくなってしまいました。デイサービスに通い始めるが、100代と高齢なことや認知症もあるため慣れないデイサービスで不穏状態がみられました。本人の心の支えを理解し声掛けを実施する事でレクリエーションや他者交流など前向きに参加され、活き活きされるようになりました

内 容

15年前までは、手芸やご近所の方とよくお話される等他者交流や活動においてとても積極的に取り組まれるのが好きな方でした。しかし年齢を重ねていく中で出来る事が徐々に少なくなってしまい、外に出る機会が減少し家で相撲やドラマを見るだけの日が多くなっていきました。また耳が聞こえづらくなったことから、認知症が進んだことで更に他者交流を図ることが難しくなってしまいました。ご家族はそんな様子を心配し、ADLの維持と良好な他者交流が図れるようデイサービスに通うことを決めました。

利用はじめは、デイサービスという慣れない環境であったことから「家に帰る」「車出して」「いつ帰れるの」などと短時間に何回も不安で聞きに来られ、室内を多動に動かれたりと不穏状態が続き、都度付き添い声掛けを行いました。数回の利用を経て、ご本人からあるお話をして下さることがありました。昔、幼少期時兵隊に背中を叩かれてしまったが、それを見た朝香宮様が優しく背中を擦って下さり、101年の人生の中で沢山の辛いことがあったが、その出来事は今でも心の支えになっているとおっしゃられておりました。そこから何とかご本人が安心して過ごしていただけるよう、デイサービスでの活動を通して日々のレクリエーションやリハビリ、お誕生日会を本人と寄り添いながら実施しました。9月の敬老会では101歳の最高齢者として表彰がありホーム長より記念品を贈呈させて頂くと、感極まれ「感謝感謝」とすごく喜ばれていました。その後利用を重ねていく間に「帰る」とおっしゃられることや不穏な様子もほとんどなくなっていました。

現在101歳、今後も私たちの活動がたくさん輝ける瞬間となれるようこれからもスタッフ一同努めて参ります。